慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	後記
Sub Title	
Author	大沢, 秀介(Osawa, Hideyuki)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1996
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.69, No.12 (1996. 12) ,p.299- 299
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	堀江湛教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19961228-0299

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

後　記

堀江湛教授は、本年三月、定年をもって慶應義塾を退職される。本号は、そのご退職を記念して編まれた論文集である。堀江先生は、昭和三三年に法学部副手として奉職されて以来、実に三九年の長きにわたって、塾法学部の学問、教育そして学内行政の分野における代表者として、文字通り獅子奮迅の活躍をなさってきた。

私が初めて堀江先生の謦咳に接したのは、二五年ほど前のいまだ学園紛争の余塵が鎮まらぬころであった。当時大学一年生であった私にとって、当時教授に昇進したての先生の講義は、その教室にいる者の心を惹きつけずにはおかない美声とともに、論理的に整然としつつも学生の関心に的確に応えるものとして、まさに少壮気鋭の学者とはいかなるものかを強く印象づけるものであった。その後の先生の足跡は、学者として、学内行政の責任者として、さらに国の政策の実現者として、まさに八面六臂の活躍をなされ、学内外における重責を担う第一人者としての道のりを示すものであった。

塾法学部のこれまでの歴史において、先生ほど学部の教育、研究者の養成に熱心であった教授はみられない。とくに先生の研究者養成への熱意は並々ならぬものが感じられた。そのために、ご自分の大切な研究時間を削りとられているかのように、周りからはみられるほどであったが、それでも先生は笑顔を絶やさず熱心に指導を続けられつつ、ご自身も別掲の著作目録にみられるように、幾多の学問的業績をものにされるとともに、学会においてもさまざまな重職を歴任された。先生のもとを巣立った研究者の数は正確には知り得ないほど数多いが、その特色は、先生の専門分野にとどまらず、行政学やマスコミ論そして私のような憲法学に至るまで幅広いことにある。それは先生自身の望まれたことであったが、その根底には現実に生起する問題を解決することこそまさに重要であり、学問分野を固定的にとらえる必要はないという先生のお考えがあったように思われる。

先生のご退職は、親しくまた時に厳しくご指導を賜ったわれわれにとって、なによりも悲しいことであるが、先生の学問への情熱、さらには社会への関心は、われわれの遠く及ばないところであり、先導者の役割を今後も旧来にも増して果たされることは疑いのないところである。ここに先生の今後のますますのご活躍を祈念しつつ、これまでに受けた計り知れぬご学恩にいささかなりとも報いるために、本論文集を献呈する次第である。

平成八年一二月

法学部教授　大沢秀介